授業科目	NPO 論					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	本郷　秀和						
授業概要	在宅介護や地域包括ケアの必要性など、福祉の世界でも「NPO」という存在を意識する機会が増えてきましたが、その組織の特徴や実態、非営利における経営手法についてはまだ体系化が進んでおらず、社会一般の中での認知も低い状況です。 本授業においては、ボランティアや趣味的なサークル活動とは異なり、市民が主体でありながら社会の制度・制度外のサービスを複合的に担う事業を推進する NPO（特に保健医療福祉に関する NPO 法人）の活動事例や各自・各グループの課題の取り組みを行うことで、具体的なイメージを共有しつつ課題と意見交換等を経て、NPO の本質に迫ります。また、海外（フィンランド、ドイツ、イタリアなど）の保健医療福祉における NGO の活動事例を紹介したいと考えます。 授業が進むほど教員が解説する講義の割合は減り、演習への取り組みと発表など、学生主体の学びの場に移行する予定です。						
授業形態	講義			授業方法	グループワークを実施する。		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	１．NPO（広義）の概念と特徴、また、行政、民間営利組織、民間非営利組織等の概要と各々の関係を説明できる。 ２．保健医療福祉領域での NPO が担う活動の必要性、方法、取り組みの例について自分の言葉で説明できる。 ３．社会システムを批判的な目でもとらえ、様々な社会課題に対して自分の意見を持つことができる。 ４．NPO 法、NPO 法人の組織構造、保健医療福祉における NPO 法人の意義等について他人に説明することができる。						

	５　保健医療福祉に関する NPO についての概要を説明することができる。
理想的レベル	NPO の基礎的な概念と特徴を理解し、知識と事例を組み合わせて他の人に説明することができる。 福祉の世界における NPO の存在意義に自分なりの意見を持ち、言葉にして語ることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物	50%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31504J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
配布した資料を確認する。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：オリエンテーション／NPO とは何か（本郷秀和） ①授業の進め方を確認し、NPO 関連の基礎的な前提知識を学ぶ。②公的セクター、民間営利セクター、民間非営利セクター、インフォーマルセクターの４つのセクターからみる NPO の位置づけと特徴。
第 2 回	テーマ：①NPO の基礎理解（狭義から講義までの概念整理）、②各種の民間非営利団体（特定医療法人、社会医療法人、社会福祉法人、一般・公益社団法人、一般・公益財団法人、協同組合（生協・農協等）、町内会・自治会、ボランティア団体等）と NPO 法人の違いについて。
第 3 回	テーマ：①NPO 法の背景と NPO 法の理解、②NPO 法人の組織構造、③NPO 法人と保健医療福祉事業（NPO 法人で実施可能な保健医療福祉事業等）④医療法人が実施できる社会福祉事業について、⑤社会福祉法人の公益的活動について、⑥全国の介護系 NPO の調査結果の紹介など。
第 4 回	テーマ：①NPO 法人における保健医療福祉に関する様々な統計的情報収集と活動傾向の理解と報告、②制度外（インフォーマル）な生活支援サービスの意義と種類、③NPO 法人におけるインフォーマルサービス（独自サービス）の開発プロセスについて
第 5 回	テーマ：福祉 NPO（NGO)の活動事例（諸外国：イタリア、ドイツ、フィンランドなどの事例)、②保健医療福祉に関する NPO 法人の様々な事例収集（活動の理念・対象者・内容・活動形態・担い手など）と成果報告
第 6 回	テーマ：福祉 My ストーリー／Our プロジェクト①（本郷秀和）

	チームで一人ひとりの想いを共有し、NPO 活動としての福祉プロジェクト案を作る。
第 7 回	テーマ：福祉 My ストーリー／Our プロジェクト②（本郷秀和） チームで一人ひとりの想いを共有し、NPO 活動としての福祉プロジェクト案を作る。
第 8 回	テーマ：プロジェクト発表会／まとめ（本郷秀和） 作成したプロジェクト案を発表し、相互にフィードバックを得る。 本授業で学んだ事を振り返り、今後の展望と共に総括する。
テキスト	テキスト市民活動論－ボランティア・NPO の実践から学ぶ－　第２版 編集：社会福祉法人　大阪ボランティア協会 著者：早瀬昇・水谷綾・永井美佳・岡村こず恵　他 A5 版　193 頁 発行年：2017 年 ISBN：978-7-87308-070-3
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<参考文献> ①鬼崎信好・本郷秀和編『コメディカルのための社会福祉概論 第 5 版』2023 年,講談社. ＜特記＞ パソコンが使用できる教室を使用することがあります。 （※ただし、受講生全員がノートパソコン持参であるとともに、インターネットの利用が可能な環境であれば、通常の教室で実施予定）
課題に対するフィ	本授業内では学生の到達目標、また成績の評価基準として、知識の量や回答の優秀性よりも、①「NPO における社会貢献活動・公益的活動の重要性」、②「NPO の動向・活動からみる社会的課題の

ードバックの方法	発見と理解」、③「プレゼンテーションと自分の社会貢献に関する意見を持ち言語化できる力」の３点を重視します。
学生へのメッセージ・コメント	各回の授業の合間や授業計画全体における後半部分にグループワークの時間を設けます。保健医療福祉等に関する現行の制度やサービスが完全ではないことを理解し、常識に縛られずに、自由に自分の考えや意見を発信してください。 日常の大学の授業や経験などにおいて、特に保健医療福祉に関する事柄等に着目し、「これはおかしい（仕組みなど）」や「こうだったら良いのに」と思うことにアンテナを張り巡らせてください。また、社会の中で疑問や違和感が生じる保健医療福祉サービスに関する事柄（「決められていることしかできない」「もっとこんなサービスや活動、柔軟性があったらいいのに！」など）について、考えてみてください。そのうえで、さらに「自分がアクションできる事はあるか？」というところまで考えるクセをつけておいてください。